

第 6 回新中央市場建設検討会 議事要旨

1 日時

平成 30 年 10 月 16 日（火） 10 時 30 分～12 時 45 分

2 場所

広島市中央市場管理棟 3 階大会議室

3 出席委員等氏名（敬称略）

出席者	委員 (21 名中 19 名)	矢野、副島、森信、豊後、佐古田、天方、山口、佐々木（中央）、山本（中央）、井野口、高木、和田、出田、野間、奥村、山本（東部）、住田、小坂、佐々木（東部）
	市職員(4 名)	末定中央卸売市場長、山根市場整備担当課長、鈴木業務担当課長、土井東部市場長

4 議題

- (1) 民間活力導入可能性調査における市場調査について
- (2) その他

5 公開・非公開の別

非公開

6 傍聴人の人数

3 人（第 5 回新中央市場建設検討会における議事で決定した条件を満たす者）

※ 以降については、法人等事業情報等の非公開事項を除いた情報を記載

7 議事内容

民間活力導入可能性調査における市場調査について

民間活力導入可能性調査における市場調査を実施するにあたり、次の各項目について協議した。

(1) 場内事業者へのヒアリング調査について

中央市場及び東部市場の卸売業者・仲卸業者を対象に実施したヒアリング調査により、将来の事業規模、新市場に必要な施設・設備の意向等を取りまとめた。

(2) 新市場の必要規模の試算について

(1)の結果や近年の市場取扱量の推移を踏まえ、農林水産省の定める基準を基に新中央市場の必要規模を試算した。

(3) 新中央市場整備モデルプラン案について

(1)(2)等を踏まえ、新市場の施設規模・配置、整備手順についてのモデルプランを 3 案作成した。

(4) 市場調査の実施概要について

(3)で示したモデルプラン 3 案から、今回の検討会において 1 案を決定し、決定したプランに基づいて場外事業者を対象とした市場調査を実施したい。

議事の結果、(3)で示されたモデルプラン 3 案については、場内関係事業者への説明及び検討が十分でない等の意見があったことから、今回は 1 案に決定せず、今後、場内関係事業者と協議を行うこととなった。

(4)の市場調査の実施については、今回提示したモデルプラン案は用いず、各プランに共通す

る「にぎわい施設等用地」「余剰地」のエリアのみを示して実施することで了承を得た。市場調査の対象とする場外事業者については、場内事業者の意見が反映されるよう事前に意見聴取すべき等の意見があったことから、各委員と協議した上で決定することで了承を得た。

8 報告事項

(1) 他市場視察の結果について

8月24日に実施した福岡市中央卸売市場青果市場への視察及び9月14日に実施した神戸市中央卸売市場本場の視察の結果について報告した。

(2) 基本計画素案の見直し状況について

新中央市場建設基本計画素案の作成状況について、新たに整理した「施設概要」、「土地利用計画」、「主要建築物の経年劣化、設備投資の状況」を報告した。

9 委員からの主な発言内容（◎は委員、◆は市）

議題（1）民間活力導入可能性調査における市場調査について

◎東部市場の事業者にとっては、中央市場の施設配置が分からないし、これまでの検討会における決定事項も分からないと思うので、開設者は、東部市場に何度も足を運び説明するなどの配慮をするべきである。

◎（モデルプランの配置や規模については、）事業者全員に関係することであるため、各部門全員と協議した上でこの検討会に臨むというのが普通のあり方ではないか。

⇒ ◆中央市場、東部市場の事業者にしっかりと情報提供する、コミュニケーションを取る必要があるという意見については、今後十分に配慮してやっていく。

◆これまでの検討の経緯等を、一旦整理をしたい。

◎（場外事業者への）ヒアリングに行く前に、ヒアリング先はこの検討会で提示されるのか。

◎どういった事業者にヒアリングを行うのか、場内の事業者の意見も反映されるようにした方が良いのではないか。

⇒ ◆場内事業者との協議も反映しながら整理をしていきたいと考えているので、ヒアリング先等の提案があれば事務局に連絡してほしい。

◆（場外事業者の）ヒアリング先については早めに委員の方々に照会し、意見を伺う。（ヒアリング先が）決まったらその旨を報告し、ヒアリングに入る方向で進めたい。

◎民間活力の導入にあたっては、にぎわい棟だけ建てるかとか物流施設だけ建てるといった、別々の事業ではなく、建設業や流通業、物流業など事業者で共同企業体を組んでもらい、この新市場全体について、この共同企業体を代表する企業がどういう意向を持つかといったことを確認したほうが良いのではないか。

⇒ ◆今回の民間活力導入可能性調査は、物流であれば物流、にぎわいであればにぎわいといった各エリアについて、まずは事業参画の可能性を探るものであり、この調査の結果をそのまま反映するわけではない。

◎モデルプラン案について、出荷者や買出人の意見が議論されていないと思われるので、出荷者や買出人が利用しやすいような動線を考えた案を出してほしい。

⇒ ◆動線については、たたき台の案を提示し、議論する。

◎モデルプランを作成するにあたり、動線だけでなく産地のトラックの種類・台数・入場日時等も調査した上で作ったほうが良いのではないか。

⇒ ◆まずはゾーニングを決めて、具体的なことについては、基本設計の中でヒアリングしながら進めていくことになる。

◎今回取扱高が減少する方向で規模等を決めている。今のトレンドではそうなるのかもしれないが、目指すところはせめて現状維持、ここから増やしていくことであり、そのためにはどういう施設が必要なのかを議論していく必要があるのではないかと思われる。